鶏のロイコチトゾーン症と小倉喜佐次郎獣医学博士との関係,そして知り得た日本統治下の台湾の獣医畜産事情 (14)

<table>
<thead>
<tr>
<th>誌名</th>
<th>畜産の研究 = Animal-husbandry</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>ISSN</td>
<td>00093874</td>
</tr>
<tr>
<td>巻/号</td>
<td>638</td>
</tr>
<tr>
<td>掲載ページ</td>
<td>p. 853-857</td>
</tr>
<tr>
<td>発行年月</td>
<td>2009年8月</td>
</tr>
</tbody>
</table>

農林水産省 農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センター
Tsukuba Business-Academia Cooperation Support Center, Agriculture, Forestry and Fisheries Research Council Secretariat
図のロイコトゾーン症と小倉第佐次郎先生との関係。そして知り得た日本統治下の台湾の獣医畜産事情（14）

秋葉和温

IV. 台湾の各種機関に所属された獣医畜産関係の業績集（続き）

I, 70 佐藤重雄: 夏季発発の狗中毒性胃腸症, 台畜 (1934) 昭和 9 年。
I, 71 小倉佐次郎: 東北 (中国) の疾病調査, 台畜 (1934) 昭和 9 年。
I, 72 山根重信: 家児卵子の受精機制に関連原因の研究 (独文), 台畜 (1934).

VI, 21 福井浅一: 牛の Piroplasma, 台畜 (1934)。
略 (X II, 33 高井 清, 台畜; X II, 34 寺田清一・高井 清, 台畜; X II, 35 吉富秀雄, 台畜; X II, 36 佐藤重雄, 台畜, 昭和 9 年)。

XII, 2 星 武: 鳥病, 台畜 (1934) 昭和 9 年。
XIV, 42 松野正雄: 鳥の病原虫及虫 Stateless 等, 台畜 (1934) 昭和 9 年。
略 (XIV, 83 杉本正親, 台畜; XIV, 84 杉本正親, 台畜, 昭和 9 年)。

XIV, 85 杉本正親: 台湾原産家禽類寄生の幼虫状形態学的研究, 農報 (1934) 昭和 9 年。

XIV, 86 杉本正親: 台湾の家禽寄生虫研究 (第四), 農業 (1934) 昭和 9 年。
略 (XIV, 87 杉本正親, 農業, 1934)

XIV, 88 杉本正親: 台湾鰓類鶏の系統学, 日畜 (1934) 昭和 9 年。
略 (I, 73 末藤 幹, 台畜; I, 74 殖産局, 台畜; I, 75 佐藤重雄・益部俊哉, 台畜, 昭和 9 年)。

III, 9 坂本義: 中央研究所恒春種畜所発生の炭疽状病, 台畜 (1935) 昭和 10 年。

VI, 22 大橋正之助・木神新太郎・中村幸雄: 牛 Piroplasma 病の実際的研究, 台畜 (1935)。

VI, 23 杉本正親: 台湾産猪の他徴病及 Anaplasma 病, 台畜 (1935)。

VI, 24 渡辺良敬: 台中市発生の牛 Piroplasma 病, 台畜 (1935) 昭和 10 年。

*元農林水産省家畜衛生試験場 (Kazuo Akiba)
農薬（1935）昭和 10年。
略（XIV, 94 栃木正䕬，日学；XIV, 95 栃木正篤，熱農；XIV, 96 中央研究所，寄生虫，八師防，1935）
略（I, 76 岡村雄勝・寺田清二，台畜，1936；I, 77 陳松茂，台畜，1936；I, 78 星武・藤田俊朗，台畜，1936）
I, 79 高沢 寿：参加第九次東北蒙古家畜防病会議，台畜（1936）昭和 11年。
X II, 49 小倉喜佐次郎：猪瘟的研究（第一），農薬（1936）昭和 11年。
X II, 50 小倉喜佐次郎：猪瘟的研究（第二），農薬（1936）昭和 11年。
略（XIV, 97 栃木正篤，台畜；XIV, 98 栃木正篤，台畜；XIV, 99 栃木正篤，台畜，1936）
XIV, 100 栃木正篤：吸血動物与熱病病，台北帝大記念講演集（1936）昭和11年。
I, 80 高沢 寿・松村叡春：台湾家畜伝染病防治史，台畜（1937）昭和 12年。
高沢 寿・松村叡春：台湾家畜伝染病防治史。台湾の畜産。第5巻，第2号，○○～○○(1937)昭和 12年。（白井：日本獣医学史 599 頁から引用）
VI, 26 伊東鶴馬：台湾の物産誌史，台畜（1937）。
VII, 16 小倉喜佐次郎・板垣啓三郎：台湾の蘇拉（Surra）病研究，陸畜（1937）昭和 12年。
略（I, 81 湯沢謙医畜産学会の台畜，1937）
X III, 7 小倉喜佐次郎・板垣啓三郎：台湾細菌性雉白痢（第一），台畜（1937）。
略（XIV, 101 栃木正篤，台畜；XIV, 102 栃木正篤，台畜；XIV, 103 栃木正篤，台畜；XIV, 104 栃木正篤，台畜；XIV, 105 栃木正篤，台畜；XIV, 106 栃木正篤，台畜；XIV, 107 栃木正篤，台畜；XIV, 108 栃木正篤，台畜；XIV, 109 栃木正篤，台畜，1937）
I, 82 小倉喜佐次郎：台湾の重要家畜伝染病，台畜（1938）。
台畜＝台灣畜產研究會報，1 (4)，○一○ (1938)。
略（I, 83 陳拝，台畜，1938；I, 84 朱進守，台畜，1938）
VII, 17 陳拝：牛齲的的蘇拉（Surra）病治療，台畜（1938）昭和 13年。
VII, 18 栃木正篤：蘇拉（Surra）病的可確媒介山蜆（Haemadipsa zeylanica）台畜（1938）。
略（XIV, 110 栃木正篤，台畜；XIV, 111 栃木正篤，台畜；XIV, 112 栃木正篤，台畜；XIV, 113 栃木正篤，農林，1938）
X IV, 114 栃木正篤：山蜆 Haemadipsa zeylanica 為蘇拉可能媒介，台畜（1938）昭和 13年。（これは VII, 18 栃木正篤 と同じ報告一秋葉）
略（XIV, 115 栃木正篤，台畜；XIV, 116 栃木正篤，台畜；XIV, 117 栃木正篤，台畜，1938）
略（I, 85 湯沢 誠，台畜産，1939）
X III, 8 小倉喜佐次郎：細菌性雉白痢菌試験器具及其使用法，台畜倉（1939）。
X III, 9 板垣啓三郎：台湾の病牛疫研究，熱熟畜（1939）昭和 14年。
I, 86 館沢円之助：馬匹発熱の主要疾病，台畜倉（1939）昭和 14年。
略（I, 87 梶原・松本延彦，台畜倉，1939；I, 88 藤田俊朗，台畜倉，1939）
略（I, 89 今泉三郎，台畜倉，1940；I, 90 和気壁・後藤孝作，癌，1940）
I, 91 山根信信・葛野正夫・寺田日吉・高橋大晦男：由血温、脈膊数及呼吸数的变化所見荷蘭牛・蒙古牛・韓国牛及印度牛的耐熱性比較，熱熟畜（1940）。
I, 92 山根信信・加藤 浩：印度牛・台湾牛・蒙古牛及荷蘭牛的皮膚面積比較尤其是与耐熱性的関係，熱熟畜（1940）昭和 15年。
I, 93 小倉喜佐次郎：馬匹の性能と血液変化に伴う研究（第一報），熱熟畜（1940）。
I, 94 山根信信：荷蘭殖民地印尼的家畜防疫与獸医学的研究，熱熟畜（1940）。
I, 95 館沢円之助：幼齢育成の疾病，台畜倉（1940）。
I, 96 佐藤康雄：猪畜の普通疾病と诊断，台畜倉（1940）昭和 15年。
II, 39 小倉喜佐次郎・富田四郎：關於牛痘的研究，熱熟畜（1940）昭和 15年。
II, 40 小島一：牛痘の流行史，台畜倉（1940）。
II, 41 南沢豊吉：牛痘撲滅の体験，台畜倉（1940）。
II, 42 後藤英文：一次死亡 3000 頭の恒春牛痘，台畜倉（1940）昭和 15年。
II, 43 武上義一：終点の塔，台畜倉（1940）。
II, 44 上原伊兵衛：牛痘防拡の回憶，台畜倉（1940）昭和 15年。
X II, 51 小倉喜佐次郎：猪瘟的予防試験，熱熟畜（1940）昭和 15年。
X III, 10 森 大三：猪瘟疫，熱熟畜（1940）。
【この熱臓病は間違えて、森 大三：所謂鶏馬病房に就て、台湾畜畜会会報 3 巻 10 号、37-38 (1940) が正しいものでした。この会報は台北図書館にありました－秋葉】

IX, 8 高沢 寿 野村俊鋼：台灣所分離出血液敗血症菌の分類, 台畜産 (1940)。

X IV, 118 小倉喜佐次郎：馬の重要内臓虫—其治療法, 台畜産 (1940) 昭和 15 年。 

X IV, 119 杉本正正：布哇の家畜寄生虫と倫敦の結核乳, 台畜産 (1940) 昭和 15 年。 

X IV, 120 杉本正正：馬の寄生虫及び寄生虫病, 台畜産 (1940) 昭和 15 年。 

X IV, 121 杉本正正：台灣原産艦の研究 (其三) 羽蛤科の貓, 農林 (1940) 昭和 15 年。 

X IV, 122 杉本正正：台灣壁蝨目類目非第二部分 Tyroglyphidae 与 Analgeridae 科, 台博 (1940)。

X IV, 123 上川 豊・馬島四郎・林 永助：台灣原産水牛及黄牛の Oncoserica 症, 台医 (1940)。

X IV, 124 森 大三：台灣家兔的病癒 Sarcopoles，熱臓病 (1940)。

森 大三：台灣に於ける家兔の Sarcopoles 疫癒，熱帯動物学畜産学雑誌，1 巻 4 号，285-288 (1940) （台北帝國大學理農學部畜産学教室）

I, 97 小倉喜佐次郎・樫橋 実・王振弥：噴霧乾燥製造乾燥血清（台灣淡水獸疫血清製造研究報告之一）熱臓病 (1941) 昭和 16 年。 

I, 98 鈴木 剛：台灣馬匹発生の急性反緊態, 台畜産 (1941) 昭和 16 年。

I, 99 館沢円之助：台灣の馬顆粒性皮膚炎及結膜炎, 台畜産 (1941) 昭和 16 年。

II, 45 片山義男：海南島所発生の牛痘, 台畜産 (1941) 昭和 16 年。

II, 46 今後進雄：遼南海南島的牛痘, 台畜産 (1941) 昭和 16 年。

III, 10 小倉喜佐次郎・樫橋 実・王振弥：炭疽予防接種及免疫血清在馬體內注射的作用, 熱臓病 (1941) 昭和 16 年。

VI, 27 兒山健二：進口改良牛所発生的壁蝨熱, 台畜産 (1941) 昭和 16 年。

VI, 28 杉本正正：焦虫 (Piroplasma) 症の Acaprin 療法, 台畜産 (1941) 昭和 16 年。

VIII, 6 淡沢義吉：传染性腸口瘡予防工作経験談, 台畜産 (1941) 昭和 16 年。

X I, 1 名島 盛：馬传染性貧血的診断法, 台畜産 (1941) 昭和 16 年。

X I, 2 鈴木 剛：传染貧血馬匹の臨床診断, 台畜産 (1941) 昭和 16 年。

X III, 11 菅原盛一郎：鶏鼠疫応用肉浸液与 Lipamol 台畜産 (1941) 昭和 16 年。

X III, 12 佐藤重雄：家禽伝病学, 台畜産 (1941)。

X IV, 125 館沢円之助・小倉喜佐次郎：台灣の馬結膜及皮膚 Habronema 症, 熱臓病 (1941) 昭和 16 年。

X IV, 126 杉本正正：台灣原産艦的研究 (其四) 羽蛤科的猫, 農林 (1941) 昭和 16 年。

I, 100 菅保三郎：牛隻の黒斑病甘藷易該中毒, 台畜産 (1942) 昭和 17 年。

I, 101 高橋右馬太：羊群的疾病, 台畜産 (1942)。

I, 102 杉本正正：蒼蠅与疾病 (其一), 台畜産 (1942)。

略 (X II, 52 新里芳雄・重本 治・林栄滿, 熱臓病；X II, 53 児山健二 - 新里芳雄, 熱臓病；X II, 54 石川初太郎・田村達治・大山 保, 軍医, 1942)

VI, 29 油井 幹親：高雄州発生の焦虫 (Piroplasma) 症, 台畜産 (1942) 昭和 17 年。

VII, 19 森 達夫・森 大三・蔡豊盛・蘇拉 (Surra) 病馬的治療, 台畜産 (1942) 昭和 17 年。

X I, 3 鈴木 剛：传染性貧血症馬匹所顯示紅血球数, 台畜産 (1942) 昭和 17 年。

X I, 4 鈴木 剛：传染性貧血症馬匹所顯示紅血球数, 台畜産 (1942) 昭和 17 年。

X IV, 127 杉本正正：家兔的寄生虫症与寄生虫, 台畜産 (1942) 昭和 17 年。

X IV, 128 杉本正正：日本熱帯地区及華南原産的壁蝨, 台畜産 (1942) 昭和 17 年。

X IV, 129 杉本正正：水牛的疥癒症, 台畜産 (1942) 昭和 17 年。

X IV, 130 杉本正正：台灣果真有包虫 (Echinococcus) 存在, 台畜産 (1942) 昭和 17 年。

X IV, 131 杉本正正：台灣原産稀奇的豬線虫, 台畜産 (1942) 昭和 17 年。

X IV, 132 杉本正正：Deris 潰瘍 parten 羽蛤虫, 台畜産 (1942) 昭和 17 年。

X IV, 133 杉本正正：台灣原産艦的研究 (其五) 植食病, 農林 (1942) 昭和 17 年。

I, 103 杉本正正：蒼蠅与疾病 (其二), 台畜産 (1943) 昭和 18 年。

I, 104 平間忠七：蹄叉腐爛病と刨蹄的関連, 台
獣（1943）昭和 18 年。
I，105 杉本正篇：蒼蠅与疾病（其三），凰子与蒼蠅特集，台畜（1943）昭和 18 年。
II，47 小倉喜佐次郎・柿丸俊恵・劉煥炎：台湾産家畜対牛瘟の感受性，熱猟畜（1943）。

II，20 館沢元之助：台湾虻的季節性増減与防疫の関連，熱猟畜（1943）昭和 18 年。
X Ⅱ，55 山下万太郎，台畜産（1943）昭和 18 年。略（Ⅱ，56 森・大三：猪瘟検出試の記録，台畜産；Ⅱ，57 神谷義勝・角田孝蔵：熱猟畜，1943）

XIV，134 杉本正篇：家畜の肉貯存虫，台畜産（1943）昭和 18 年。
XIV，135 杉本正篇：台湾の家畜蒼蠅幼虫症（蛆虫），農林（1943）昭和 18 年。
XIV，136 杉本正篇：台湾原産蛹の研究（其六）粘傘蛹の蛹，農林（1943）昭和 18 年。
XIV，137 杉本正篇：台湾原産蛹の研究（其五）毛囊虫科の蛹，台畜産（1943）昭和 18 年。
XIV，138 杉本正篇：台湾原産蛹の研究（其三）毛囊虫科の蛹，台畜産（1943）昭和 18 年。

I，106 岸 徳一：幼齢頑発の疾病，台畜（1944）昭和 19 年。
XIV，139 杉本正篇：台湾及海南島，総観（1944）昭和 19 年。
XIV，140 杉本正篇：海南島家畜寄生生虫調査報告，外事部調査報告（1944）昭和 19 年。
XIV，141 杉本正篇：海南島原産の壁蝨目（一），総観（1944）昭和 19 年。
XIV，142 館沢 円之助：馬の皮膚及び結膜のHabronema 症治療試験，熱猟畜（1944）。

次の畜産関係の資料は伊藤全氏から小倉喜佐次郎関係の文献に次のももあるよと送って下さったものです。
「山根甚信・小倉喜佐次郎・蓀田德義：台湾崎面猪（桃園種）観盤克夏品種間雑種進行免疫遺伝学的研究，遺伝（1938）。」

その時，これ畜産関係の文献の中にあるのであろうかと思い，私は獸医関係のものについて調べたが，関係のあるものは皆、この畜産関係も検索されることを望みますと書く予定でした。しかし，佐々木伸子氏から次のものの送付を受け，上述の文献がV-100であることが判りました。それと同時に折角，検索して下さったので，後述の1，2，3に，この項目の中で，報告されている方々のお名前だけでも列挙して，検索時の参考に供したいと思い，この「業績集」の後に挿入して賞賛しました。


I-畜産一般

1-1〜174：内藤健行（3，1906），長崎林三郎（3）
山田，台畜（12），岡村治（8），高橋村（8），武田猛
田，自然疫病（2），石田（2），岡村・柳川，田山・
野，台畜（12），福井浅（2），柳川（2），篠原政雄，人見次郎，台畜（14）

(1943)，(1943)，（3）

11，11，11，11，11，11，11


V-1~120：藤根（1906），岡田，深井，小野，折田，
藤，星子，河村，吉田，山田，青木，上野，高沢，
佐土原，飯田，玉水，葉，篠，福井，武上，柳川，
服部，三島，宗村，V-76 山根・藤田，西村，川野，
寺，今村，今後，中田，V-85 山根・藤田，高沢，
荘，荷宮，塚原，末永，齊藤，西村，V-100 山根甚信
小倉喜佐次郎・蓀田德義：台湾崎面猪（桃園種）
観盤克夏品種間雑種進行免疫遺伝学的研究，遺伝
（1938）。舟井，新田，飯田，V-104 藤田，知花，豊
川，三田，瀬戸口，竹本・高杉，V-119 藤田（1944），

このV-100の山根・小倉・蓀田の報告は，伊藤全氏からも知らせを受けていました。
3. XV 去勢：

 XV-1～13：西嶋（1911）、小野、阿部、堺野、中尾、齊藤、XV-12 小野豊、XV-13 加藤浩・中谷宏（1940）。


によると、雑誌中文名 雑誌日文名 日文略号中文 収載処所 (台湾での) などが示されています。
上述の業績等に関係のある雑誌について、以下に示しました。括弧内が日本での雑誌名です。

台農友（台湾農友会報、台湾農友会会報）、台畜畜（台湾畜畜畜畜会報）、台農事（台湾農事報）、
陸畜（陸軍畜医学団報）、台畜、台畜医（台湾畜医会報）、台医（台湾医学會誌）、中畜（中央畜医会
雑誌）、農畜（中央研究所農畜部彙報）、台畜（台灣之畜畜、台灣之畜畜、畜畜（台灣畜畜畜畜報）、
畜畜（畜畜畜畜畜畜報）、畜畜（細菌學雑誌）、畜畜（畜畜畜畜畜畜報）、畜畜（細菌学雑誌）。

畜畜（畜畜畜畜畜畜報）、畜畜（畜畜畜畜畜畜報）、畜畜（畜畜畜畜畜畜報）、畜畜（畜畜畜畜畜畜報）。